

# 琉球大学学術リポジトリ

## [記事]研究会ニュース第11回南方資源利用技術研究会総会

メタデータ	言語: 出版者: 南方資源利用技術研究会 公開日: 2014-10-26 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/20.500.12000/0002017283">http://hdl.handle.net/20.500.12000/0002017283</a>

## 研究会 ニュース

## 第11会 南方資源利用技術研究会総会

第11回総会は、平成3年7月13日(土)14時より琉球大学農学部において約80名の参加者をもって開催された。当山会長のあいさつの後、村山盛一氏(琉球大学農学部・教授)を議長に選出し議事に入った。平成2年度事業報告、同会計報告・監査報告が承認された後、平成3年度事業計画、同予算が原案通り可決された。平成3年度は、創立10周年記念事業(記念シンポジウム)の開催に事業の主力が注がれることになった。

## 1. 第10回 総会次第

開会の挨拶

議長選出

議 事

平成2年度事業報告

平成2年度会計報告

平成2年度会計監査報告

平成3年度事業計画案

平成3年度予算案

その他

閉会の挨拶

## 2. 平成2年度事業報告

- a) 第10回総会の開催(H2.7.14:琉球大学農学部)
- b) 第7回研究発表会の開催(H2.12.1:琉球大学農学部)
- c) 研究会誌第7巻第1号の発行
- d) 特別講演会の開催(4テーマ)
  - \* サンゴ礁生物の生理活性物質  
琉球大学理学部 教授 比嘉 辰雄 氏
  - \* 第3次振計と県内企業の課題  
社団法人 沖縄県経営者協会 副会長  
専務理事 宮城 豊 氏
  - \* 琉球の植物成分  
琉球大学教養部 教授 森 巖 氏
  - \* 第3次沖縄振興開発計画の策定に向けて  
沖縄県企画開発部 課長 赤嶺 勇 氏
- e) ニュースレターの発行 2回(No.21, No.22)
- f) 関連資料・文献の収集
  - \* 文献リスト作成推進

g) 国際交流活動の推進

- \* 熱帯・亜熱帯地域における資源利用の実態に関する調査

h) 研究部会活動の推進

- \* 研究協力の推進
- \* 入会勧誘活動
- \* 記念事業の実施計画の検討

3. 平成2年度会計報告（平成2年6月1日～平成3年5月31日）

（収 入）

項 目	平成2年度予算	決 算	差 引
繰越金	1,382,528	1,382,528	0
会費 一般会員	252,000	262,000	10,000
特別会員	1,100,000	1,250,000	150,000
未収会費 一般会員	70,000	38,000	△ 32,000
特別会員	100,000	100,000	0
利 息	2,000	15,872	13,872
雑収入	70,000	48,400	△ 21,600
収 入 総 計	2,976,528	3,096,800	120,272

（支 出）

項 目	平成2年度予算	決 算	差 引
1. 事務費			
消耗品	50,000	3,913	46,087
通信費	40,000	43,552	△ 3,552
旅 費	75,000	0	75,000
備品費	10,000	0	10,000
手当 アルバイト	50,000	57,000 <sup>*1</sup>	△ 7,000
事務補助	100,000	115,272 <sup>*1</sup>	△ 15,272
振替手数料	5,000	3,580	1,420
交通費	20,000	9,000	11,000
事 務 費 小 計	350,000	232,317	
2. 事業費			
総会費	80,000	44,048	35,952
会議費	20,000	7,465	12,535
活動費	300,000	80,000 <sup>*2</sup>	220,000
出版物印刷費	1,500,000	798,465 <sup>*3</sup>	701,535
ニュースレター等印刷費	150,000	230,000	△ 80,000
出版物発送費	100,000	72,911	27,089
予備費	476,528	0	476,528
事 業 費 小 計	2,626,528	1,232,889	
支 出 総 計	2,976,528	1,465,206	

次年度繰越 1,631,594

\*<sup>1</sup> 単価引上げによる差額, \*<sup>2</sup> 講演謝礼4件,

\*<sup>3</sup> 第6巻1号及び別刷り代, 従って差引分は第7巻分として繰越.

## 4. 平成3年度事業計画

- a) 第11回総会の開催 (H3. 7. 13 : 琉球大学農学部)
- b) 第8回研究発表会の開催 (H3. 秋)
- c) 創立10周年記念事業 (シンポジウム等予定)
- d) 研究会誌第8巻第1号の発行
- e) 特別講演会の開催 (4テーマ)
  - \* 沖縄の産業振興
    - (株) トロピカルテクノセンターとの関わり—
    - (株) トロピカルテクノセンター研究開発部長 照屋 輝一 氏
  - \* 専門家 (技術者) のためのマングローブとマングローブのための専門家 (技術者)
    - (MANGROVES FOR ENGINEERS AND ENGINEERS FOR MANGROVES)
    - 国際マングローブ生態系協会副会長 マルタ・ヴァンヌッチ 氏
- f) ニュースレターの発行 2回 (No.23, No.24 )
- g) 関連資料・文献の収集
  - \* 文献リスト作成推進
- h) 国際交流活動の推進
  - \* 熱帯・亜熱帯地域における資源利用の実態に関する調査
- i) 研究部会活動の推進
  - \* 研究協力の推進
  - \* 入会勧誘活動

## 5. 平成3年度予算 (平成3年6月1日～平成4年5月31日)

(収 入)

項 目	平成3年度予算	平成2年度予算	増 減
繰越金	1,631,594	1,382,528	249,066
会費 一般会員	278,000	252,000	26,000
特別会員	1,350,000	1,100,000	250,000
未収会費 一般会員	110,000	70,000	40,000
特別会員	200,000	100,000	100,000
利 息	15,000	2,000	13,000
雑収入	50,000	70,000	△ 20,000
収 入 総 計	3,634,594	2,976,528	658,066

(支 出)

項 目	平成3年度予算	平成2年度予算	増 減
<b>1. 事務費</b>			
消耗品	50,000	50,000	0
通信費	40,000	40,000	0
旅費	75,000	75,000	0
備品費	10,000	10,000	0
手当 アルバイト	60,000	50,000	10,000
事務補助	100,000	100,000	0
振替手数料	5,000	5,000	0
交通費	20,000	20,000	0
事務費小計	360,000	350,000	10,000
<b>2. 事業費</b>			
総会費	80,000	80,000	0
会議費	20,000	20,000	0
活動費	300,000	300,000	0
出版物印刷費	1,500,000	1,500,000	0
ニュースレター等印刷費	150,000	150,000	0
出版物発送費	100,000	100,000	0
予備費	1,124,594	476,528	648,066
事業費小計	3,274,594	2,626,528	648,066
総 計	3,634,594	2,976,528	658,066

記念シンポジウム報告

本会創立10周年を記念して、沖縄化学装置懇話会（1周年）、（財）沖縄県産業振興公社（20周年）の共催で記念シンポジウム「沖縄のバイオ資源の利活用を探る」が平成3年11月30日（土）午後1時から5時の日程で沖縄コンベンションセンターで開催された。参加者は約200名であった。

基調報告：バイオ資源利活用による産業振興

農林水産省食品総合研究所 利用部長 齋尾恭子 氏

食品由来成分の高度利用

太陽化学（株） 常務取締役 金 武祚 氏

好熱性微生物の耐熱性酵素：その遺伝子工学と利用

京都大学化学研究所 教授 左右田健次 氏

## 沖縄におけるバイオインダストリーの現状

## ① 組織培養による農産種苗の生産

北中城村農業開発(株) 取締役 濱井義則 氏

## ② 紅麹菌による豆腐ようの事業開発

琉球セメント(株) 事業開発部主任 瀬底正康 氏

## バイオ資源の産業化

(株)トロピカルテクノセンター 研究開発部長 照屋輝一 氏

総合討論 コーディネーター 琉球大学農学部教授 國府田佳弘 氏

## 研究発表会および特別講演会報告

第8回研究発表会は記念シンポジウムと同じ日(11月30日)の午前10時から12時まで開催され、次の9課題の講演があった。特別講演会は第11回総会時に琉球大学農学部で開催された。

## 1. 研究発表会

- ① カンショの組織培養によるウイルスフリー苗の育成  
沖縄農業試験場 照屋寛由
- ② 月桃の栽培密度が収量に及ぼす影響  
琉球大学農学部 ○米盛重保・村山盛一
- ③ ゲットウ成分の農薬的利用法の検討  
琉球産経(株) ○末吉元治・宮里 正・山内政栄  
琉球大学農学部 多和田真吉・小波本直忠
- ④ ゲットウ成分を用いた1,3,2-オキサザホスホリジン類の合成と生物活性  
琉球大学農学部 多和田真吉・○平良栄彦・小波本直忠  
琉球産経(株) 宮里 正・川満恵清
- ⑤ 甘蔗表皮付着油脂成分とフィルターケーキ・廃糖蜜含有油脂成分について  
第一製糖(株)製糖事業部 儀部茂八
- ⑥ オキナワモズク (*Cladosiphon okamuranus* TOKIDA) からアルギン酸の抽出・分離  
琉球大学農学部 ○田幸正邦・伊志嶺美紀・秋吉由子
- ⑦ 木炭アク汁を用いた沖縄そばについて  
沖縄県工業試験場食品室 ○田村博三・赤嶺欣哉・照屋比呂子
- ⑧ 各種酵母の活用とろみ工程の効率化による泡盛の香味の高級化  
ヘリオス酒造(株) 照喜名重智
- ⑨ 琉球RKCによるヘドロの固化処理  
琉球セメント(株) ○又吉 修・仲松照隆・黒島安之・大城清昭  
比嘉国男・山城保成

## 2. 特別講演会

- ① 沖縄の産業振興－（株）トロピカルテクノセンターとの関わり－  
（株）トロピカルテクノセンター研究開発部長 照屋輝一 氏
- ② 専門家（技術者）のためのマングローブとマングローブのための専門家（技術者）  
（MANGROVES FOR ENGINEERS AND ENGINEERS FOR  
MANGROVES）  
国際マングローブ生態系協会副会長 マルタ・ヴァンヌッチ 氏